

感染症法における感染症の分類

感染症 類 型	疾 病 名	届 出 の 要 否			届 出 方 法			法に基づく入院勧告の可否			就業制限通知の可否		
		患者	疑似症	無症状病原 体保有者	定点種別	時期	内容	患者	疑似症	無症状病原 体保有者	患者	疑似症	無症状病原 体保有者
1	エボラ出血熱	○	○	○	(全数)	直ちに	a	○	○	○	○	○	○
1	クリミア・コンゴ出血熱	○	○	○	(全数)	直ちに	a	○	○	○	○	○	○
1	痘そう	○	○	○	(全数)	直ちに	a	○	○	○	○	○	○
1	南米出血熱	○	○	○	(全数)	直ちに	a	○	○	○	○	○	○
1	ペスト	○	○	○	(全数)	直ちに	a	○	○	○	○	○	○
1	マールブルグ病	○	○	○	(全数)	直ちに	a	○	○	○	○	○	○
1	ラッサ熱	○	○	○	(全数)	直ちに	a	○	○	○	○	○	○
2	急性灰白髄炎	○	×	○	(全数)	直ちに	a	○	×	×	○	×	○
2	結核	○	○	○	(全数)	直ちに	a	○	○	×	○	○	×
2	ジフテリア	○	×	○	(全数)	直ちに	a	○	×	×	○	×	○
2	重症急性呼吸器症候群(病原体がコロナウイルス属 SARSコロナウイルスであるものに限る。)	○	○	○	(全数)	直ちに	a	○	○	×	○	○	○
2	中東呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属 MERSコロナウイルスであるものに限る。)	○	○	○	(全数)	直ちに	a	○	○	×	○	○	○
2	鳥インフルエンザ(H5N1)	○	○	○	(全数)	直ちに	a	○	○	×	○	○	○
2	鳥インフルエンザ(H7N9)	○	○	○	(全数)	直ちに	a	○	○	×	○	○	○
3	コレラ	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	○	×	○
3	細菌性赤痢	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	○	×	○
3	腸管出血性大腸菌感染症	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	○	×	○
3	腸チフス	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	○	×	○
3	パラチフス	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	○	×	○
4	E型肝炎	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
4	ウエストナイル熱	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
4	A型肝炎	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
4	エキノコックス症	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
4	エムボックス	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
4	黄熱	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
4	オウム病	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
4	オムスク出血熱	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
4	回帰熱	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
4	キャサスル森林病	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
4	Q熱	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
4	狂犬病	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
4	コクシジオイデス症	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
4	ジカウイルス感染症	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
4	重症熱性血小板減少症候群(病原体がフレボウイルス属SFTSウ イルスであるものに限る。)	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
4	腎症候性出血熱	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
4	西部ウマ脳炎	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
4	ダニ媒介脳炎	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
4	炭疽	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
4	チクングニア熱	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
4	つつが虫病	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
4	デング熱	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
4	東部ウマ脳炎	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
4	鳥インフルエンザ(鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9)を除く。)	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
4	ニパウイルス感染症	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
4	日本紅斑熱	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
4	日本脳炎	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
4	ハンタウイルス肺症候群	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
4	Bウイルス病	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
4	鼻疽	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
4	ブルセラ症	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
4	ペネズエラウマ脳炎	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
4	ヘンドラウイルス感染症	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
4	発しんチフス	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
4	ボツリヌス症	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
4	マラリア	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
4	野兔病	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
4	ライム病	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
4	リッサウイルス感染症	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
4	リフトバレー熱	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
4	類鼻疽	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
4	レジオネラ症	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
4	レプトスピラ症	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
4	ロッキー山紅斑熱	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
5	アメルバ赤痢	○	×	×	(全数)	7日以内	b1	×	×	×	×	×	×
5	RSウイルス感染症	○	×	×	小児科	次の月曜	c1	×	×	×	×	×	×
5	咽頭結膜熱	○	×	×	小児科	次の月曜	c1	×	×	×	×	×	×
5	インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感 染症を除く。)	○	×	×	急性呼吸 器感染症 基幹(※1)	次の月曜	c1	×	×	×	×	×	×
5	新型コロナウイルス感染症(病原体がベータコロナウイルス属のコ ロナウイルス(令和二年一月に中華人民共和国から世界保健機 関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告された ものに限る。)*であるものに限る。)	○	×	×	急性呼吸 器感染症 基幹(※1)	次の月曜	c1	×	×	×	×	×	×
5	ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く。)	○	×	×	(全数)	7日以内	b1	×	×	×	×	×	×
5	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	○	×	×	小児科	次の月曜	c1	×	×	×	×	×	×
5	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	○	×	×	(全数)	7日以内	b1	×	×	×	×	×	×
5	感染性胃腸炎	○	×	×	小児科 基幹(※2)	次の月曜	c1	×	×	×	×	×	×
5	急性呼吸器感染症	○	×	×	急性呼吸 器感染症	次の月曜	c1	×	×	×	×	×	×
5	急性出血性結膜炎	○	×	×	眼科	次の月曜	c1	×	×	×	×	×	×
5	急性弛緩性麻痺	○	×	×	(全数)	7日以内	b1	×	×	×	×	×	×
5	急性脳炎(ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東 部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を 除く。)	○	×	×	(全数)	7日以内	b1	×	×	×	×	×	×

感染症 類 型	疾 病 名	届 出 の 要 否			届 出 方 法			法に基づく入院勧告の可否			就業制限通知の可否		
		患者	疑似症	無症状病原 体保有者	定点種別	時期	内容	患者	疑似症	無症状病原 体保有者	患者	疑似症	無症状病原 体保有者
5	クラミジア肺炎(オウム病を除く。)	○	×	×	基幹	次の月曜	c2	×	×	×	×	×	×
5	クリプトスポリジウム症	○	×	×	(全数)	7日以内	b1	×	×	×	×	×	×
5	クロイツフェルト・ヤコブ病	○	×	×	(全数)	7日以内	b1	×	×	×	×	×	×
5	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	○	×	×	(全数)	7日以内	b1	×	×	×	×	×	×
5	後天性免疫不全症候群	○	×	○	(全数)	7日以内	b2	×	×	×	×	×	×
5	細菌性髄膜炎(侵襲性インフルエンザ菌感染症、侵襲性髄膜炎菌 感染症及び侵襲性肺炎球菌感染症を除く。)	○	×	×	基幹	次の月曜	c2	×	×	×	×	×	×
5	ジアルジア症	○	×	×	(全数)	7日以内	b1	×	×	×	×	×	×
5	侵襲性インフルエンザ菌感染症	○	×	×	(全数)	7日以内	b1	×	×	×	×	×	×
5	侵襲性髄膜炎菌感染症	○	×	×	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
5	侵襲性肺炎球菌感染症	○	×	×	(全数)	7日以内	b1	×	×	×	×	×	×
5	水痘	○	×	×	小児科	次の月曜	c1	×	×	×	×	×	×
5	水痘(入院例に限る。)	○	×	×	(全数)	7日以内	b1	×	×	×	×	×	×
5	性器クラミジア感染症	○	×	×	STD	翌月初日	c1	×	×	×	×	×	×
5	性器ヘルペスウイルス感染症	○	×	×	STD	翌月初日	c1	×	×	×	×	×	×
5	尖圭コンジローマ	○	×	×	STD	翌月初日	c1	×	×	×	×	×	×
5	先天性風しん症候群	○	×	×	(全数)	7日以内	b1	×	×	×	×	×	×
5	多剤耐性緑膿菌感染症	○	×	×	(全数)	7日以内	b1	×	×	×	×	×	×
5	手足口病	○	×	×	小児科	次の月曜	c1	×	×	×	×	×	×
5	伝染性紅斑	○	×	×	小児科	次の月曜	c1	×	×	×	×	×	×
5	突発性発しん	○	×	×	小児科	次の月曜	c1	×	×	×	×	×	×
5	梅毒	○	×	○	(全数)	7日以内	b1	×	×	×	×	×	×
5	播種性クリプトコックス症	○	×	×	(全数)	7日以内	b1	×	×	×	×	×	×
5	破傷風	○	×	×	(全数)	7日以内	b1	×	×	×	×	×	×
5	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	○	×	×	(全数)	7日以内	b1	×	×	×	×	×	×
5	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	○	×	×	(全数)	7日以内	b1	×	×	×	×	×	×
5	百日咳	○	×	×	(全数)	7日以内	b1	×	×	×	×	×	×
5	風しん	○	×	×	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
5	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	○	×	×	基幹	翌月初日	c2	×	×	×	×	×	×
5	ヘルパンギーナ	○	×	×	小児科	次の月曜	c1	×	×	×	×	×	×
5	マイコプラズマ肺炎	○	×	×	基幹	次の月曜	c2	×	×	×	×	×	×
5	麻しん	○	×	×	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
5	無菌性髄膜炎	○	×	×	基幹	次の月曜	c2	×	×	×	×	×	×
5	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	○	×	×	基幹	翌月初日	c2	×	×	×	×	×	×
5	薬剤耐性アシネトバクター感染症	○	×	×	(全数)	7日以内	b1	×	×	×	×	×	×
5	流行性角結膜炎	○	×	×	眼科	次の月曜	c1	×	×	×	×	×	×
5	流行性耳下腺炎	○	×	×	小児科	次の月曜	c1	×	×	×	×	×	×
5	淋菌感染症	○	×	×	STD	翌月初日	c1	×	×	×	×	×	×

(届出事項) a:氏名、年齢、性別、職業、住所、所在地、病名、症状、診断方法、初診・診断・推定感染年月日、感染原因、感染経路、感染地域、診断した医師の住所及び氏名、その他、(保護者の住所氏名)
b1:年齢、性別、病名、症状、診断方法、初診年月日、診断年月日、推定感染年月日、感染原因、感染経路、感染地域、診断した医師の住所及び氏名
b2:年齢、性別、病名、症状、診断方法、初診年月日、診断年月日、推定感染年月日、感染原因、感染経路、感染地域、診断した医師の住所及び氏名、最近数年間の主な居住地、国籍
c1:年齢、性別
c2:年齢、性別、原因病原体の名称、検査方法

※1 インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。)及び新型コロナウイルス感染症(病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス(令和二年一月に中華人民共和国から世界保健機関に
対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。)であるものに限る。)の基幹定点の届出については、届出対象は入院したもので、届出内容は入院時の対応を加える。
※2 感染性胃腸炎の基幹定点の届出については、届出対象は病原体がロタウイルスであるもので、届出内容は原因病原体の名称及び検査方法を加える。